

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第 2 年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	仙台市		
事業所の名称	仙台市宮城野区役所		
事業所の所在地	仙台市宮城野区五輪 2 丁目12-35		
主たる事業	地方公務		
事業者の該当要件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	○	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	523.7 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	40.74	
	目標年度	2025 年度	目標排出量	507.9 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	39.51	
			削減率	3.01 %	削減率	3.01 %	
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %	
温室効果ガスの排出状況	第 1 年度	2023 年度	排出量	508.5 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	39.56	
			削減率	2.90 %	削減率	2.89 %	
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %	
	排出量等の増減理由	庁舎の暖房使用期間のうち、12月から2月までの気温が前年度よりも高く、電力及び都市ガスの使用量が少なくなったため、排出量の低減につながった。また、冷房使用期間のうち 1 ヶ月強の間、冷温水発生器（1 号機）が使えず冷房が片系運転となったことも排出量減の要因になったと考えられる。					
	第 2 年度	2024 年度	排出量	419.5 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	32.64	
			削減率	19.89 %	削減率	19.88 %	
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %	
	排出量等の増減理由	庁舎の冷暖房使用時期に、ブラインドを適宜開閉するよう職員向けの放送を行うようになり、効率良く冷暖房を使用できるようになってきたことが削減の要因であると考えられる。					
	第 3 年度	2025 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位		
			削減率	%	削減率	%	
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%	
	排出量等の増減理由						

## 様式第2号

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	92 %	目標年度	100 %
	第1年度	92 %	実施状況の説明等	基準年度（2022年度：令和4年度）に実施済となっていた対策について、第1年度においても引き続き実施することができた。第1年度において未実施となっている基本対策については、第2年度に実施済となるよう取り組んでいる。
	第2年度	100 %	実施状況の説明等	基準年度（2022年度：令和4年度）及び第1年度に実施済となっていた対策について、第2年度においても引き続き実施することができた。また、第1年度において未実施となっている基本対策については、第2年度に実施済となるよう取り組んだ。（ブラインド調整による空調負荷の抑制）
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	外気冷房		実施済
	冷水出口温度の管理		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	仙台市環境行動計画に基づいた取組を継続して実施する。	実施済
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	職員による公共交通機関や公用自転車の利用を継続して促進する。	実施済
	グリーン調達の実施	仙台市グリーン購入推進方針に基づき、グリーン購入対象物品等の調達に努める。	実施済